

Rainbow Net



第41号
2026.1.1
(令和8年1月)

ひとりで悩まないで！
レインボーネットは
あなたの新しい一歩を応援します



冬の浄土ヶ浜（宮古市）

目次 CONTENTS

●表紙	1 ●障がい者雇用特集01 マリンコープDORA	6~7
●新年あいさつ	2 ●障がい者雇用特集02 トマト & オニオン宮古店	8~9
●午年の抱負	3 ●こんにちは、「地域活動支援センターみやこ」です！	10~11
●独占インタビュー・玉木幸則さん	●なんでもKEIJIBAN、編集後記	12
4~5		

注) 法律や制度に基づく固有名詞及び引用文は「障害」と表記し、それ以外は「障がい」と表記しています。



思いやりの日々へ

特定非営利活動法人 宮古圏域障がい者福祉推進ネット

会長　刈屋　裕之

会長 鈴木匡明
(宮古保健福祉環境センター福祉課長)

年頭にあたり、障がい者福祉に関する関係各位、地域の多くの皆様には、私ども「古圏域障がい者福祉推進ネット」の日々の活動に対しまして、深いご理解と温かいご支援をいただきておりまことに職員一同、心より感謝申し上げます。

あの珍々しい新型コロナ感染症は、かつての勢いは弱まつてきていたるとはいっても未だ根絶には至つております。さらには例年になら感染力の季節性インフルエンザや、かつて考えられなかつた野生の熊の生活エリアへの進出と危害、突然の大規模自然災害の脅威など、どこにいても誰もが不安と危機感を抱えてしまうことのじうの毎日の生活です。

昨年は身近なところでは「岩手県精神障がい者福祉大会」が宮古市で、また岩手県では「全国ろうあ者福祉大会」が開催されました。さらにには東京を舞台にした「東京デフリンピック」ではたくさんボランティアの協力の積み重ねと、選手の皆さんたゆまぬ研鑽のもとに熱のこもつた笑顔でのプレーを見せてくれました。デフリンピックはさすがに世界大会ということもあり、また大阪万博博覧会から引き続いての世界への関心からか、マスコミも大きく取り扱つてくれました。おかげで、「聞くえない人、

と不安になってしまいます。報道の方だけでなく私たちも広く地域に知らしめるための工夫を日々重ねていかなければと感じています。もちろん聴覚障がいだけではなく、多種にわたる年々複雑化する障がい全般にも言えることです。おわりに、チベットの法王・ダライ・ラマ十四世の言葉に「思いやりの真価が問われるのは、抽象的な議論で何を言つかではなく、日常生活ごとのように行動するかです」というものがあります。他の者の苦しみと共に苦しみ、その痛みを取り除こうと動く」ことが「恩やり」。それは「愛」と共に誰かと世話をし合わなければ、人はお互に生きていけないという「深い相互依存」の事実に根を下ろす、と言っています。

私たちも、地域の中で障がいがあつてもなくして、思いやりの心を持ちながりともに日々を過ごすことが出来たならばどんない素敵な温かな地球になる」と感じています。

聞こえにくい人への社会の理解を深めることが出来た」とある全国新聞が総括していました。日本人の活躍 様々な国の人たちの笑顔はとてもうれしいことでした。ただ、日本人の熱しやすく冷めやすい民族性を考えると、この感動は長持ちしないのではないだろうか。

宮古圏域障がい者自立支援協議会は、地域における障がい者等の自立支援体制の充実を目的として、関係機関が連携し、課題解決に向けた協議を行う場として設置されています。

今年度は、障がい者福祉計画及び障がい児福祉計画の実施に必要な協議をはじめ、地域生活支援拠点の運営と検証、総合相談支援体制を担う人材の専門性向上、障がい者の権利擁護の推進、医療的入所施設や精神科病院からの地域移行体制整備、精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの推進、医療的ケア児の支援体制整備、地域住民の障がい理解促進、専門部会の再編など、九つの重点課題に取り組んでいます。

一方、地方における介護・福祉人材の確保は喫緊の課題であり、宮古圏域においても例外ではありません。人口減少と高齢化の進行により、障がい者支援に携わる専門職の不足が深刻化しており、支援の質を維持するためには人材育成と定着が不可欠です。

県では、処遇改善加算の活用、研修機会の充実、地域福祉人材バンクの運用、ICTを活用した業務効率化など、総合的な対策を推進しています。これらの施策を圏域に適応させ、関係機関が連携して人材確保に取り組むことが

求められます。今後の協議会の方向性としては、①相談支援専門員のスキル強化、②医療・福祉・就労分野の包括的連携、③当事者参画の推進が重要です。さらに、災害時の支援体制整備やICTを活用した情報共有・オンライン相談の導入も不可欠です。

協議会は、制度改正や社会情勢の変化に的確に対応し、地域課題の解決に向けた実効性のある協議を重ねることで、誰もが安心して暮らせる宮古圏域の実現を目指します。

一方、地方における介護・福祉人材の確保は喫緊の課題であり、宮古圏域においても例外ではありません。人口減少と高齢化の進行により、障がい者支援に携わる専門職の不足が深刻化しており、支援の質を維持するためには人材育成と定着が不可欠です。

県では、処遇改善加算の活用、研修機会の充実、地域福祉人材バンクの運用、ICTを活用した業務効率化など、総合的な対策を推進しています。これらの施策を圏域に適応させ、関係機関が連携して人材確保に取り組むことが



いとう みつまささん
(伊東 光正)

健康で長生きしたいです！



はらこ こうたさん
(腹子 昇太)

これからも仕事をつづけて
いきたいです！(作業中に
お聞きしました)



いとう たかしさん
(伊東 尚)

出来れば温かい家庭を築け
たらいいなあと思います。



みうら まさおさん
(三浦 政男)

新しい年も、大根、じゃがいもから始めて、
いちご、きゅうりも作る！いろんな種類
の野菜作りをがんばりたい！(グループ
ホームに自分の畑をお持ちです)



いとうまいさん
(伊藤 舞)

豆選とアンパンマンのパズルを
頑張りたい！



にしま いさきさん
(西間 伊咲) 6歳



2026年の午年は「丙午」の年です。「丙」(ひのえ)は
太陽のような明るさ、「午」(うま)は行動力がある、
とされています。活気があり、新しいものが生まれる
年になるよう、願いを込めて「う」や「ま」が名前
につく皆さんに、今年の抱負を伺いました。



イラスト



えんどう まおさん
(遠藤 舞桜)

健康的な一年にしたいです。



まえかわ こうさん
(前川 幸虎) 3歳

おともだちをつくって、
たくさんあそびます！



さいとう ようこさん
(斎藤 洋子)

まりもヘルパーステーション管理者



うれしいことがたくさんあるように、
働いて、働いて、働いて、**うまく**
働いてまいりたいと思います。



玉木幸則さんのプロフィール

出産時、仮死状態だったため脳性マヒとなる。小中学校は、地域の学校で学ぶも、高等学校は、全寮制の養護学校に在籍。日本福祉大学社会福祉学部第Ⅱ部卒業後、自立生活センターインストラーム協会で自立生活運動にのめり込む。現在、一般社団法人兵庫県相談支援ネットワーク代表理事や社会福祉法人西宮市社会福祉協議会権利擁護普及推進及び相談支援アドバイザー、龍谷大学客員教授などを務める。令和7年3月に終了したNHK・Eテレのバリアフリー・バラエティー番組「バリバラ」などに16年間出演していた。

独占インタビュー

玉木幸則さんが語る 障がい者福祉の むかし・いま・これから

去る11月23日(日)、玉木さんが宮古圏域障がい者自立支援協議会主催の令和7年度地域生活支援セミナーの講師として来宮された際、イーストピアみやこで「障がい者福祉のむかし・いま・これから」というテーマでインタビューしました。(文責・加藤伸二)



仲間外れにされたとか、寂しい思いをしたこと
はなかつた

■子どもの頃は、どんな日常生活を
送っていましたか。

学校へ行くときは、母親が自転車で送ってくれました。帰りは約2kmの道のりを、友達と30分くらいかけてゆっくり歩いて帰ってきました。

お母さんは、どんな人でしたか。

めちゃくちゃ厳しい人でした。学校で虐められ泣いて帰ると、「泣くんやつたら学校行かんでええ」って叱られましたね。外で転んだ時、優しいおじさんが起こしてくれましたが、母親はそのおじさんに「この子はこれから一人で生きていかなればならないから・・・」と怒っていましたね。

■友達とは、どんな遊びをしていましたか。

僕が住んでいた団地には、同級生だけじゃなく縦社会がありましたね。中学生の兄ちゃんとキックベ一スポーツや野球をして遊んでいました。僕だけ「三振なし、打てるまで打つ」など、いろいろ皆が工夫してくれました。だから、仲間外れにされたとか、寂しい思いをしたつづく記憶はないです。

■学校の先生とのエピソードがあれ ば教えてください。

小学6年生の時、突然、担任の先生に呼ばれて「児童会長に立候補しない!」と言われました。最初は断りましたが、結果的に立候補することになり、対抗馬もなく僕が児童会長になったんです。(言語障害のある)この声で、校内放送もやりました。朝礼台に上がって挨拶もしました。

中学3年生の時、担任の先生から全寮制の養護学校(高等部)へ進学することを勧められました。僕は普通の公立高校へ進学したかったのですが、猛烈に抵抗しましたが、親にも説得され・・・本当は普通の公立高校へ行きたかった。

■大学への進学を決めた経緯を教えてください。

進学先として「福祉系の大学」っていうイメージは持っていましたが、僕は天邪鬼だから「障害福祉」の勉強はしたくないと思っていました。高齢者福祉か医療福祉の勉強をしようと考えていました。

いくつかの大学を受験し、中部地方にある大学(昼間部)と日本福祉大学(夜間部)に合格しました。親は昼間の大学へ進学して欲しいと思っていました。でも、親には申し訳ないけど、今度は自分の思い通りにさせて欲しいと懇願し、日本福祉

大学への進学を決めました。



本人の生活に
見合ったプランを
作成して欲しい

■むかしと比べ、今の「障がい者福祉」、一番どこが変わったと思いませんか。

やっぱり、2003年(平成15年)の措置から契約へ変わったことが一番大きいですね。あの時代に、地域で暮らすためのサービス量がぐっと増えましたからね。

措置の時代は、障がい者が地域で自立した生活を送るために必要なサービス量を確保することは簡単ではありませんでした。僕は自立生活センターで、障がい者の一人暮らしを成立させるための仕組みづくりに取り組んでいたので、措置から契約に変わりサービス量が増えたことで大分楽になりました。

■現在、相談支援の業務にも従事されているのですか。

いいえ、今は現場には出ていません。兵庫県からの委託事業である専門コース別研修とか初任者研修を受講する前に受ける基礎研修などの運営をしています。

■計画相談支援については、どのようにお考えですか。

計画相談支援というのは、「本人に本当はこれだけサービスが必要で、だからこれだけの支給決定を出してください」というための根拠なんです。ところが行政は書かずだけ書かせとつてうちはお金がないからこのくらいしか出さないよつていうようなやり方やつたら、計画書はいらんですよ。それやつたら行政が勝手にプラン書いて、支給決定を出せばいい。相談支援専門員を挟んで本人さんの生活に見合ったプランを立てる以上、それが根拠になることをもつと大事にしていかないといけない」と考えています。

■玉木さんは、セルフプランでサービスを利用しているのですか。

いいえ、僕は何も障がい福祉サービスを利用していません。

■これから「共に生きていくこと」を前提とした仕組みづくりを

あるべきだが、日本のグループホームはそうない。施設の小規模化に他ならない。しかも、多分グループホームの支援者も本人も、これが地域移行だと思っちゃってるんですね。これからは、グループホームから一人暮らしへの移行を促進していく必要があります。

■これから「障がい者福祉」はどういう方向に進んでいくて欲しいですか。

僕が大事にして欲しいことは、「安易に分けない」「違いを理由に排除しない」「どの子にも、どの人にも平等な選択肢を用意する」フルインクルージョンという考え方です。つまり、最初から「共に生きていくこと」を前提にして、学校や地域や社会の仕組みを組み立てていくことです。

■「障がい者福祉」という枠を超えていかなければならないということですね。

その通りです。日本では、「共生社会」という言葉がよく使われます。もちろん、それ 자체がダメということではありません。ただ、「共生」とはもともと生物学の用語なんですね。広い意味では、「寄生」も含まれている。片方が損をして、もう片方が損をする関係も、「共生」と呼ばれてしまうことがある。



※玉木さんと加藤事務局次長

僕が人間社会に對して使いたいのは、むしろ「協働」という言葉です。いろんな立場の人が、それぞれ違う力を持ち寄って、一緒に社会を創つていく。意見が合わないからといって、「じゃあ、出て行つてくれ」と一緒にやつていけるかを探していき。排除するのではなく、「どうすればいい」という前提に立つて、そのうえで「排除しない」ということ。それが、僕の考える「協働する社会」です。

■講演会の後でお疲れのところ、インタビューやご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

どういたしまして。



副店長の遠藤大樹さん

Q2 現在の従業員数（内・障がい者雇用人数）を教えてください。

アルバイトも含め99名、そのうち障がい者雇用は2名になります。もう1名は水産部門におりまして、ちくわなどの練り物やおで

平成8年11月に開業した「マリンコープDORA」、船をモチーフにした外観が特徴的で、安心安全な商品を提供し私たちの生活を支える大型スーパー。新鮮な野菜や果物、海産物が数多く並べられ、おいしそうなお惣菜もたくさん売られています。また、日用品も品揃えが豊富なので、買い物は一度ですみます。今回はこちらでの「障がい者雇用」について、副店長の遠藤大樹さんにお話を伺いました。

時には1名おりまして、おにぎりを作っていました。もう一人の方も縁あって採用にいたりお弁当作りをしてもらっていました。障がい者雇用については、やつていかなければならぬ、という思いでやつていています。伊東君に関しては当初違う作業をしておりました。手前どもで「にこちゃん号」という移動店舗がありまして、そちらの商品のセットをしておりました。夜間の掃除で急遽人員が足りなくなりまして、そこに移籍してもらいました。

Q5 「障がい者雇用」で良かったことはありますか？

仕事に対して皆さんには常にまじめです。人数が多い職場になりますので、伊東君がしっかりとやつていると、他の方たちちゃんとやらなきゃとなります。掃除はメンバー3人いますが、2人が出勤してペアで仕事をします。伊東君はまじめに働きますので、評判がいいです。教える方は教えがいがありますし、働いている方も働きがいがあつて非常にいいです。

Q4 「障がい者雇用」で大変だったこと（難しかったこと）はありますか？

実は全くなくて、基本的に支援団体の皆様のところでしっかりとサポートしてくださり、採用にあたつてもしっかりと紹介、事前準備、体験等で練習させてもらひえるので、逆にスムーズです。

Q6 今後の雇用についてお聞かせください。

先日も3名体験で来ていただきました。体験した方の中で、そつなくハンバーガー作りをする方がいました。好み焼きと焼きそばなどのセット商品の詰め方をしていただこうと考えていてましたが、鉄板焼きで調理する方に欠員が出てしまいました。そちらの募集をしていまして、その採用が埋まれば、ぜひ詰め方として1名採用したいと考えています。

障がい者雇用

特集 01
feature
いわて生活協同組合
マリンコープ DORA

Q1 障がい者雇用をすることに悩んだ経緯を教えてください。

こちら「DORA」での経緯は詳しくはありませんが、いわて生協として障がい者さんの雇用には力を入れています。私は以前八幡平のお店にいました、その時は総菜のマネージャーをしておりました。着任した

Q3 これまでの障がい者雇用人数は何人になりますか？

DORAでは、今の2名を含め5名おりました。定年で退職や、途中で退職された方もいます。

んの品出しをしています。





伊東大和さん

辛いと思ったことはありません。楽しいというよりは、ま

Q3 仕事は楽しいですか？ 難しいですか？

いつも頑張ってくれてありがとうございます。現在メンバーが入院して大変だ

Q8 大和さんへエールをお願いします。

いつも頑張ってくれてありがとうございます。現在メンバーが入院して大変だ

総菜部門の夜間清掃という業務です。翌日にスタッフが朝からスムーズに生産できるように行っている大事な仕事です。総菜ですと□に入るものですから、しっかりと清掃が行き届いていないとお客様にお渡しできません。一番大事なのは夜間清掃で、清潔な状態を保つことが重要です。いつもまじめに働き助かっています。のみ込みが早いです。

Q7 現在働いている伊東大和さんの仕事について教えてください。

てほしいです。バイクは安全運転で！

Q1 マリンコープDORAで働く伊東大和さんにインタビュー

18才から生協で働いています。ベルフ西町店で4年半、その後ドラヘ。現在8年9ヶ月経ちました。令和8年4月に丸9年になります。週5日間、4時間勤務(夕方16時～夜20時まで)火・土曜日は休みです。

Q2 どんな仕事をしていますか？

作業場の掃除や調理器具の洗浄、機械を使って揚げ物などで使った油のろ過作業、閉店後に廃棄作業や売れ残りを、機械を使って処理しています。

Q4 困った時に相談できる人はいますか？（誰に相談しますか？）

人間関係に悩むこともあります。そんな時は上司（マネージャー）に相談します。



いわて生活協同組合
マリンコープDORA

営業時間：9:00～20:00
住所：宮古市小山田 2-2-1
TEL：0193-63-3131

Q6 マリンコープDORAで一緒に仕事をしている皆さんにひとこと！

これからも、よろしくお願いします。

副店長さんの熱意あふれるインタビューでした。伊東さんは責任感ある表情で誇りをもって仕事に取り組んでいる様子がうかがえました。お一人ともありがとうございました。

Q5 お休みの日の過ごし方を教えてください。

5月から教習所に通い8月19日にバイクの免許を取得！偶然にもバイク（819）の日に取得しました！ホンダのCB125R（2021年モデル）を新車で購入し、10月21日に岩洞湖まで走ってきました。バイクにぬいぐるみを乗せて走っていて、写真もとります。



副店長の山崎雅治さん

企業全体では6名になります。トマト&オニオンでは町田君が3人目になります。ここでは8年間勤めてくれた方がいて、一人でオーダーもできるまで成長

Q3 これまでの障がい者雇用人数は何人になりますか？

お答えください。

平成11年3月に開業した「トマト&オニオン宮古店」宮古市中心部にあるレストランで、休日はたくさんのお客さんで賑わいます。誕生日のお祝い、友達とのランチなど、子どもも大人も満足するメニューがたくさんあり、中でもハンバーグがおいしいお店です。店内はアメリカンの装飾で、落ち着いた雰囲気。今回はこちらでの「障がい者雇用」について、副店長の山崎雅治さんにお話を伺いました。

特集 02 feature

トマト&オニオン宮古店

Q1 障がい者雇用をすることになつた経緯を教えてください。

社長の障がいの方たちへの思いがあつて、この雇用につながつていると思います。経緯としてはハロー・ワークから、宮古恵風支援学校の生徒さんのトライアル雇用を試してみないかと依頼がありました。当社としてもそれを機に障がい者雇用のきっかけにしたいと考えて面談して、実際に働いてもらつて採用につながりました。系列店の「牛角」でも期間は決まっていますが、採用しています。

Q2 現在の従業員数（内・障がい者雇用人数）を教えてください。

20人ぐらい従業員はいますが、障がい者雇用は町田君だけです。

しました。現在は市内の別の企業に勤めています。

Q4 「障がい者雇用」で大変だったこと（難しかったこと）はありますか？

今時点で大変なことはありません。遅刻も一切なく、素直でしっかりやっています。

Q5 「障がい者雇用」で良かったことはありますか？

他のスタッフと変わらないくらい働いてくれます。繁忙期もほとんど勤務してくれるので大変助かっています。

Q6 今後の雇用についてお聞かせください。

今後も面談をしてみて、町田君のようになります。明るい方がいたら今後も採用させていただきたいです。

トマト&オニオンで働く
町田翼さんにインタビュー



町田翼さん

Q7 現在働いている町田さんにひととお願いします。

今後もどんどん料理を覚えていつでもうつて、最終的には全部のメニューを覚えて一人で作れるくらいまで成長していただきたいと思います。よろしくお願いします。





Q1 働いてどのくらい経ちますか?

去年の7月途中にトライアル雇用で入って、その後10月から正式採用です。それから一年は経ちました。ここに来る前は別のところでも働いていました。

Q2 どんな仕事をしていますか?

土日は皿洗い、平日はキッチンで料理を作っています。サラダや揚げ物を作っています。勤務は、平日は

10時から14時まで、土日は10時から15時まで勤務しています。休みは月によって違います。連休になる時もあります。

Q3 仕事は楽しいですか? 難しいですか?

難しいところはあります。メニューが変わる時があるのですが、なかなか覚えるのが難しいです。でも仕事は楽しいです。

Q4 困った時に相談できる人はいますか?(誰に相談しますか?)

困ったときは上の人(上司)や、同僚に話しあけでいます。話はしやすいです。

Q5 お休みの日の過ごし方を教えてください。

やつぱり疲れるので、休みの日は家でゆっくり過ごして、寝たりしています。自宅から自転車で通っているので、今の時期は寒いし足が特に冷えます。松山の自宅から小山田街道を通って小山田橋を渡つて来ています。自転車では朝9時ころ家を出

10時から14時まで、土日は10時から15時まで勤務しています。休みは月によって違います。連休になる時もあります。



Q6 トマト&オニオンと一緒に仕事をしている皆さんにひとこと!

まだまだ不完全なところもあると思うのですが、これからもこのでずっと頑張っていきたいので、怪我無く安全で一緒に作業をしていただきます。



アンドーコーポレーション有限会社
トマト&オニオン宮古店

営業時間：11:00～22:00
住所：宮古市宮町1丁目3-17
TEL: 0193-71-2075

開店前のお忙しい時間帯にお邪魔させていただきました。企業として障がい者雇用に力を入れていることがお話を通して伝わってきました。ハンバーグ、やっぱり美味しいかったです!



支援センターみやこです！

会生活技能訓練)・ピアカウンセリング等の活動、各種サークル活動を行っています。また、専門の職員を配置し、医療・福祉および地域の社会基盤との連携強化のための調整、ボランティアの育成、障がいに対する理解促進を図るための普及啓発事業を実施しています。

★音楽いろいろ遊び



歌ったり、踊ったり♪



★ちかつ in イーストピア



軽運動ボッチャに挑戦！

参加型の企画となる「音楽いろいろ遊び」では、講師の音楽療法士・山崎尚子先生と一緒に、馴染みのある歌を中心に行ったり踊ったり、参加者の皆さんから自然と笑顔が溢れています。ちかつ in イーストピアでは、地域活動支援センターみやこの活動体験を行い、軽運動や創作活動に挑戦し楽しむ様子がみられました。

11月22・23日の2日間にわたり、宮古市市民交流センター(イーストピア2階)を会場に、はあとふるフェスタ2025を開催しました。ともに生きる社会へをテーマに、今年度は映画上映会・作品展示・宮古圏域障がい当事者団体等ネットワーク活動紹介展示の他、参加型の企画を行いました。

また、会場通路には地域活動支援センターみやこの活動で制作した作品展示、宮古圏域障がい当事者団体等ネットワーク活動紹介の展示を行い、障がいへの理解促進を図る有意義なイベントとなりました。はあとふるフェスタにご協力頂いた皆様、ありがとうございました。

はあとふるフェスタ2025

★パネル展示

- 地域活動支援センターみやこ 活動作品
- 宮古圏域障がい当事者団体等ネットワーク 活動紹介



★無料映画上映会

- ドキュメンタリー映画
ぼくは写真で世界とつながる～
米田祐二 22歳～
自閉症のアマチュア写真家
米田祐二さん(京都府在住)



結果
アンケート
(二部)

- 音楽いろいろ遊びでは、企画が素晴らしく、歌ったり踊ったり最後までみんな楽しそうだった。
- ちかつ in イーストピアでは楽しく参加しました。ぜひまたやって欲しい。
- ほっこりしました(映画) ●作品のひとつひとつに作者の想いが表れていて素敵です！





こんにちは、『地域活動』

「地域活動支援センターみやこ」では、障がい者等(身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児及び難病等)を対象に、自立の促進、生活の改善、身体機能の維持向上、社会との交流の促進を目的に、創作的な活動、SST(社

趣味サークルでは、簡単な軽食作りや鑑賞会・散策などを楽しむ活動を行っています。

軽食作りでは、係分担をして調理を行い、みんなで会食後は片付けを協力して行っています。鑑賞会では、ゆったりとした時間を穏やかに過ごしています。散策では、景色を眺めながら皆と交流を図っています。

利用者さんのなかには、「ここに来ると自分一人ではなく、みんなと一緒に作ったり、食べたり、話したり出来る、それが何より良いです」と話してくださる方もいらっしゃいます。

趣味サークル

活動紹介

地域活動支援センターみやこ



利用者さんにちょっと インタビュー

今年度から新たに利用をされている方々に、地活の活動に参加してみての感想をお聞きしました。

Q 地活に参加してみて、印象に残っている活動とその理由は何ですか？

★“いやしの部屋”…己書（おのれしょ）

理由：もともと習字は好きではなく、初めは緊張したけど、やってみたら楽しかったから。(20代：Sさん)

★趣味サークル…かぼちゃのパンケーキ作り

理由：出来立てのパンケーキがすごく美味しかった、幸せを感じた！また食べたい！(30代：Mさん)

★みんなで交流会…じゃがいものガレット&フローズンフルーツアイス作り&ゲーム交流

理由：料理の他に、ジェスチャーゲームが楽しかった！(30代：Nさん)



